TOSHIBA

Leading Innovation >>>

形名 SD-PDT12W

# 地上デジタルチューナー取扱説明書

・このたびは東芝地上デジタルチューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

・お求めの製品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。

・本製品は東芝ポータブルDVDプレーヤーに対応しています。対応機種以外ではご使用になれません。また、今後発売される機種に対応しているかどうかは、ポータブルDVDプレーヤー側の取扱説明書をご覧ください。

対応機種：SD-P1400、SD-P1400CK、
SD-P1600、SD-P1700、SD-P1800、
SD-P1850、SD-P2700、SD-P2800、
SD-P70S、SD-P70DT、SD-P90DT、
SD-P71S、SD-P71WF、SD-P71DT、
SD-P91DT、SD-P73SW/R

・本製品は東芝ポータブルDVDプレーヤーの他に、市販のD映像入力端子付きテレビ（D1/D2/D3）、または映像入力端子付きテレビにも対応しています。

Ⓗ PXID00004800

# 本製品で受信できるテレビ放送

本製品では、地上デジタル放送のみを受信することができます。
（地上アナログ放送、ワンセグ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。）

## ■ 地上デジタル放送の特長

地上波のUHF放送（13ch～62ch）の周波数帯域を使った放送です。最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。

## ■ アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地でも2006年末までに放送が開始されています。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上デジタル放送への移行にともない、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定しています。

### お知らせ

- 地上デジタル放送を受信するには、本製品の他に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV（ケーブルテレビ）の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
  接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 本製品は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
  また、本製品でペイ・パー・ビュー（PPV）番組を購入することはできません。

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになったあとは、本製品のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

### ■表示の説明

| 表　示 | 表　示　の　意　味 |
|---|---|
| ⚠危険 | “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。 |
| ⚠警告 | “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。 |
| ⚠注意 | “取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。 |

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

### ■図記号の例

| 図　記　号 | 図　記　号　の　意　味 |
|---|---|
| ⃠ 禁　止 | “⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。<br>具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| ● 指　示 | “●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。<br>具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| △ 注　意 | “△”は、**注意**を示します。<br>具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |

# 異常や故障のとき

**■ 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

**■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

**■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

**■ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

# ⚠警告

■ **修理・改造・分解はしないこと**

火災・感電の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ **内部に異物を入れないこと**

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ **雷が鳴りだしたら、本製品や電源プラグに触れないこと**

感電の原因となります。

■ **水にぬらしたりしないこと**

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

# ⚠注意

**■ 電源を入れる前には音量を最小にすること**

電源を入れる前には、接続しているテレビの音量を最小にしておいてください。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

**■ リモコンに使用している乾電池は、**

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示(＋)と(－)を間違えて挿入しない**
- **充電・過熱・分解・ショートしたり、火の中に入れたりしない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンにいれておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

**フォーカス(焦点)について**

本製品はハーフデコード方式を採用しているため、映像が左右にゆっくりスクロールした際に、一部フォーカス(焦点)が甘くなることがありますが、故障ではありません。

＊ デコードとは
一般的には、圧縮されている映像や音声データを、圧縮されていない元のデータに戻し、人間の目や耳で理解できる形に変換する動作のことを言います。

※ 本製品は、地上デジタルHD放送視聴時、送信されてくる圧縮された映像データに対して、横方向のみ元データの半分をデコード処理しています。

## 設置するとき

# 警告

■ **上にものを置かないこと**

● 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

● 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ **ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと**

本製品が落ちて、けがの原因となります。

# 注意

■ **温度の高い場所に置かないこと**

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。
また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ **湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと**

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ **風通しの悪い場所に置かないこと**

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

● じゅうたんや布団の上に置かないでください。

● テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。

● 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。

● 壁に押しつけないでください。

■ **移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードをはずすこと**

電源プラグを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本製品が落下し、けがの原因となることがあります。

# 電源プラグについて

## 警告

■ **電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続すること**
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指　示

■ **電源プラグを分解・改造・修理しないこと**
火災・感電の原因となります。

禁　止

■ **電源プラグのコードは、**
- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**

火災・感電の原因となります。

禁　止

■ **時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること**
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

指　示

■ **通電中の電源プラグにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと**
火災、故障の原因となることがあります。

禁　止

## ⚠ 注意

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
感電の原因となることがあります。

禁　止

# 準備する

## 付属品

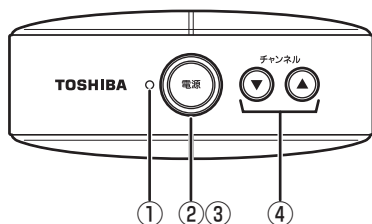
本製品には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン……1個
専用電源プラグ……1個
アンテナ接続用L型延長コネクタ……1個
単四形乾電池……2個
取扱説明書(本書)……1冊
本体スタンド……1個
B-CASカード※……1枚

※B-CASカードはデジタル放送受信契約のための受信者IDカードです。
B-CASカードは付属の説明紙についています。

電源プラグは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本製品以外に使用しないでください。

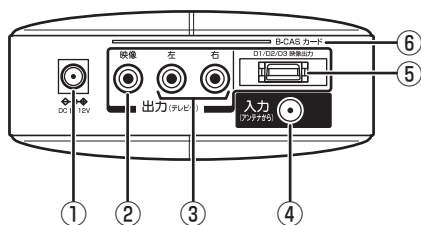
# 各部の名前(本体)

## 正面

① **電源ランプ**
電源を入れると緑点灯し、電源切(スタンバイ)時に赤点灯します。

② **電源ボタン**
本製品の電源を入/切します。

③ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受信します。
受光部は、電源ボタンの後ろにあります。

④ **チャンネルボタン**
チャンネルを選択します。

## 背面

① **電源入力端子(DC IN 12V)**
付属の電源プラグをつなぎます。

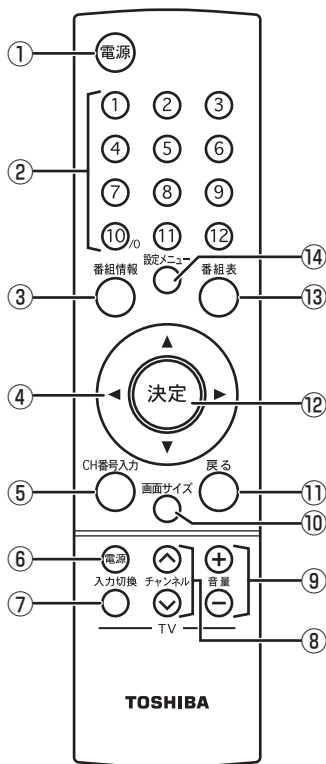
② **映像出力端子**
ポータブルDVDプレーヤーのAV入力端子、またはテレビの映像入力端子に接続します。
(③音声出力端子も同時に接続してください。)

③ **音声出力端子**
ポータブルDVDプレーヤーのAV入力端子、またはテレビの音声入力端子に接続します。

④ **アンテナ入力端子**
地上デジタル放送対応アンテナに接続します。

⑤ **D映像出力端子**
テレビのD映像入力端子に接続します。ポータブルDVDプレーヤーには接続できません。
(③音声出力端子も同時に接続してください。映像出力端子を接続した場合この端子は出力されません。)

⑥ **B-CASカード挿入口**
付属のB-CASカードを挿入します。

# 各部の名前（リモコン）

① **電源ボタン**
本製品の電源を入／切します。

② **番号ボタン**
チャンネル番号を入力するときに使います。

③ **番組情報ボタン**
電子番組表の番組詳細情報を表示します。

④ **方向ボタン**
メニュー設定項目を選択するときに使います。

⑤ **CH番号入力ボタン**
３桁のチャンネル番号を直接入力するときに使います。

⑥ **TV電源ボタン**
TVの電源を入／切します。

⑦ **TV入力切換ボタン**
TVの入力を切り換えます。

⑧ **TVチャンネルボタン**
TVのチャンネルを切り換えます。

⑨ **TV音量ボタン**
TVの音量を調節します。

⑩ **画面サイズボタン**
放送中の番組にあわせて画面サイズを切り換えるときに使います。

⑪ **戻るボタン**
メニュー設定などで前の画面に戻るときに使います。

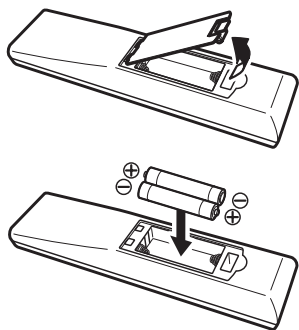
⑫ **決定ボタン**
メニュー設定で選択した項目を確定するときに使います。

⑬ **番組表ボタン**
電子番組表を表示します。

⑭ **設定メニューボタン**
メニュー設定画面を表示します。

# リモコンを準備する

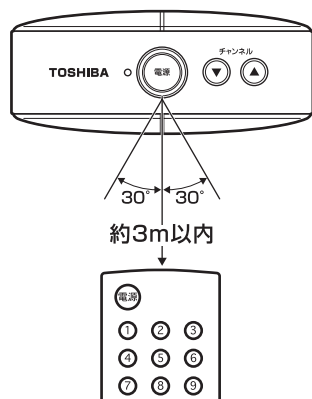
## ■ 乾電池の入れかた

準備

**1** ふたをはずす

**2** 乾電池を入れる

- 単四形乾電池を２個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめてください。

**3** ふたを閉める

## ■ リモコンの操作範囲

距離：リモコン受光部正面から約3m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内

リモコンを本体正面に対し垂直に向けて、本体から約3m以内の範囲で操作してください。リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。

## ■ リモコンのTVメーカーコードを設定する

TVメーカーコードの設定を行うと、本製品のリモコンを使って接続したテレビを操作することができます。
※ あらかじめ登録されているメーカー以外は対応していません。

リモコンのTV電源ボタンを押しながらお使いのテレビのメーカーコードを番号ボタンで２桁分入力します。
たとえば、メーカーが東芝ならTV電源ボタンを押しながら「１０／０」ボタン→「１０／０」ボタンを押します。
「１０／０」ボタンは「０」です。
入力が終わったらボタンから指をはなします。

| 対応するテレビメーカー | メーカー番号 |
|---|---|
| 東芝 | ００ |
| パナソニック(旧松下)A | ０１ |
| パナソニック(旧松下)B | ０２ |
| 日立 | ０３ |
| 三菱 | ０４ |
| シャープA | ０５ |
| シャープB | ０６ |
| 日本ビクター | ０７ |
| 三洋A | ０８ |
| 三洋B | ０９ |
| ソニーA | １０ |
| ソニーB | １１ |
| ＮＥＣ | １２ |
| 富士通ゼネラル | １３ |
| パイオニア | １４ |
| エプソン | １５ |
| ＡＩＷＡ | １６ |
| ＦＵＮＡＩ | １７ |
| ＳＡＭＳＵＮＧ | １８ |

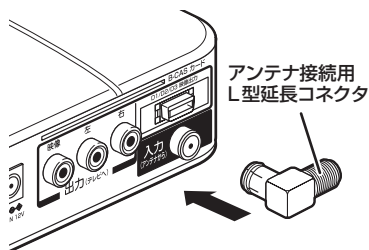
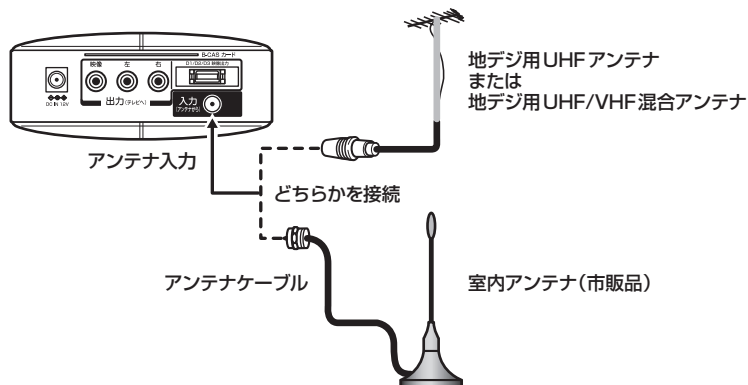
- 出荷時は東芝のテレビに設定しています。
- メーカーによっては、二つ以上の設定番号があります。その場合は、本製品のリモコンで操作できるかどうか、一つずつ入力して試してみてください。

**リモコンのTVメーカーコードを設定すると次の操作ができるようになります。**

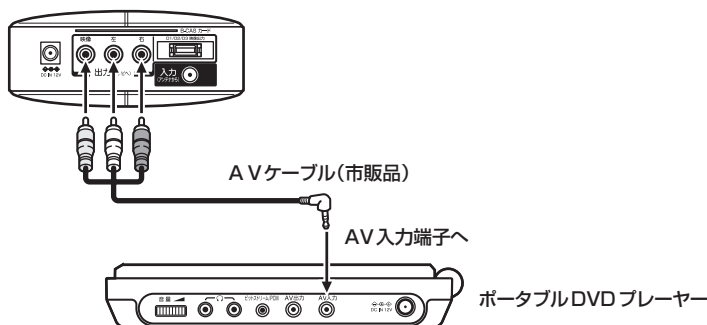
TV電源 ：TVの電源が入／切できます。
TV入力切換 ：TVの入力切り換えができます。
TVチャンネルボタン ：TVのチャンネル切り換えができます。
TV音量ボタン ：TVの音量調節ができます。

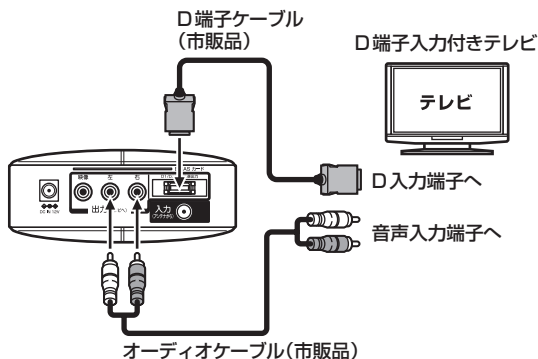
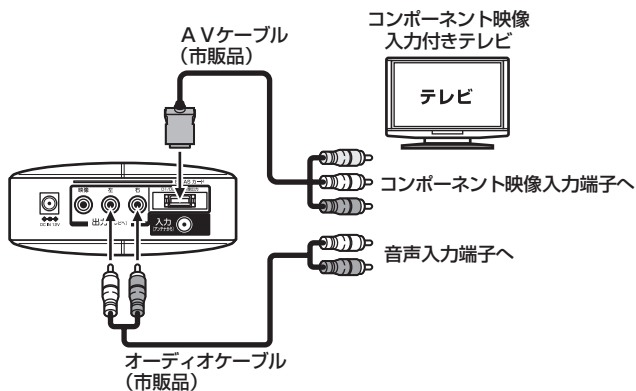
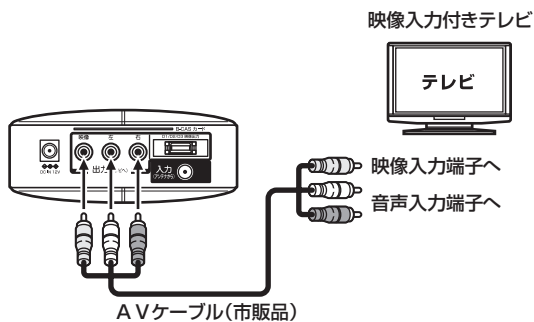
- 対応メーカーでも、テレビによっては本製品のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。
- リモコンの電池を入れ換えたときは、設定が出荷時に戻ります。
  その際は、メーカー番号を設定し直してください。

# アンテナを接続する

アンテナケーブルを本製品のアンテナ入力端子に接続してください。

D映像出力端子と同時に使う場合、付属のアンテナ接続用L型延長コネクタを中継に使ってください。

# 機器を接続する

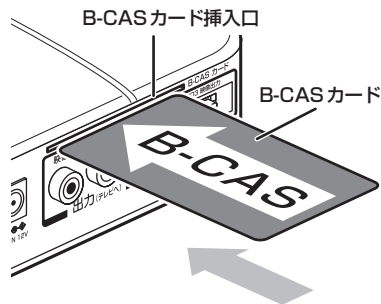
## ■ ポータブルDVD プレーヤーの接続

## ■ D端子入力付きテレビの場合

D映像出力端子でテレビと接続する場合は、D端子出力設定をしてください。詳細は、「D端子出力設定」（23ページ）をご覧ください。

## ■ コンポーネント映像入力端子付きテレビの場合

## ■ 映像入力端子付きテレビの場合

# B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

B-CAS（ビーキャス）カードを入れる本製品に同梱されているB-CASカードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。B-CASカードは常時、本製品に挿入しておいてください。B-CASカードの登録のしかたや取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

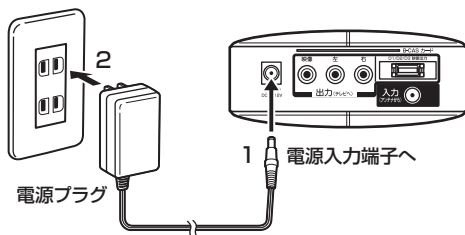
### お知らせ

- 同梱のB-CAS（ビーキャス）カードの説明書についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をするときに加入申込書に必ず貼ってください。
- B-CASカードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本製品の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更したい場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

## ■ B-CAS(ビーキャス)カードの入れかた

**B-CASカードの矢印の印刷面を上にして、矢印の向きに奥まで差し込む**

**取り出すときはB-CASカードをそのまま引き抜きます。**

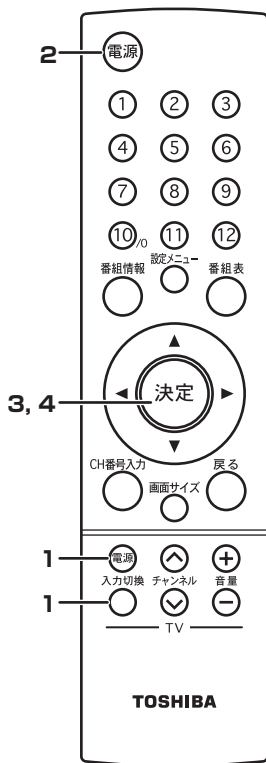
# 電源プラグを接続する

付属の電源プラグを、次のようにつないでお使いください。

AC100V コンセントへ
1、2の順に接続します。

はずすときは、逆の2、1
の順ではずします。

# 初期設定をする

はじめて本製品の電源を入れると、自動的に初期設定画面になり、デジタル放送受信に必要な設定を順に行うことができます。

## ■ 自動チャンネル設定する

### 1 テレビの電源を入れ、入力を切り換える

テレビの入力端子と同じ表示になるようにしてください。
付属リモコンを使う場合、「入力切換」ボタンを押して選択します。
※リモコンのTV メーカーコードの設定が必要です。13ページをご覧ください。

### 2 本製品の電源を入れる

リモコンの「電源」ボタンまたは本製品の「電源」ボタンを押します。
地域選択メニューが表示されます。

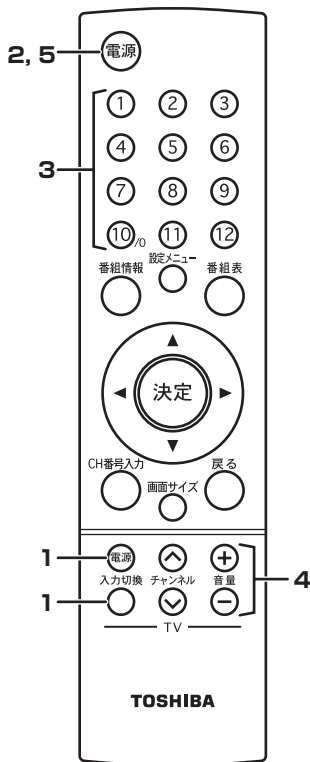
### 3 「▼/▲/◀/▶」方向ボタンで地域を選択して、「決定」ボタンを押す

表示される地域選択メニューからお住まいの地域を設定します。先に地方を選び、次に都道府県を選びます。

### 4 「◀/▶」方向ボタンで初期スキャンを選択して、「決定」ボタンを押す

2度目以降の自動チャンネル設定の場合は、再スキャンを選択します。

# 地上デジタル放送を見る

## 番組を見る

**1** テレビの電源を入れ、入力を切り換える

テレビの入力端子と同じ表示になるようにしてください。
付属リモコンを使う場合、「入力切換」ボタンを押して選択します。
※リモコンのTVメーカーコードの設定が必要です。13ページをご覧ください。

**2** 本製品の電源を入れる

リモコンの「電源」ボタンまたは本製品の「電源」ボタンを押します。

**3** リモコンの数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

**4** テレビの音量を調節する

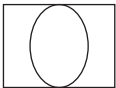
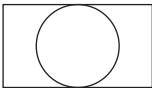
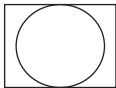
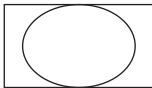
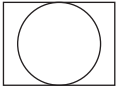
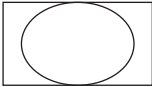
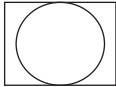
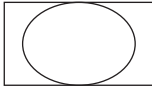
**5** 本製品の電源を切る

リモコンの「電源」ボタンまたは本製品の「電源」ボタンを押します。

## ■ 電子番組表を見る（番組表）

リモコンの「番組表」ボタンを押すと、番組表が表示されます。「◀/▶」方向ボタンでチャンネルを選び、「決定」ボタンを押すとそのチャンネルの番組表（番組情報）を取得します。
「戻る」ボタンを押すと、元のチャンネルを表示します。

## ■ 視聴している番組の番組情報を見る（番組情報）

リモコンの「番組情報」ボタンを押すと、現在見ている番組の情報が表示されます。

- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。

## ■ 画面サイズを選ぶ

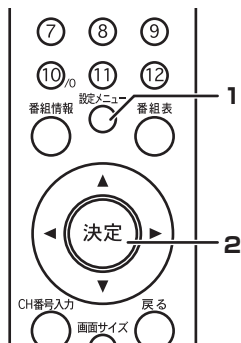
放送中の番組にあわせて、D端子出力設定を480iにした場合は、[ノーマル]、[4:3レターボックス]、[4:3パンスキャン]から選びます。
D端子出力設定を1080iにした場合は、[ノーマル]、[16:9レターボックス]、[16:9パンスキャン]から選びます。
画面の見え方については、次の表をご覧ください。

| 放送の種類／TVの種類 ＼ 本製品の設定 | ワイド放送 | | 4：3放送 | |
|---|---|---|---|---|
| | 4:3TV | 16:9TV | 4:3TV | 16:9TV |
| ノーマル | | | | |
| 4:3レターボックス<br>16:9レターボックス | | | | |
| 4:3パンスキャン<br>16:9パンスキャン | | | | |

# メニュー操作のしかた

## メニュー操作と項目設定のしかた

- 「設定メニュー」ボタンを押すと、設定メニュー画面が表示されます。
- メニュー操作では、表示設定、機器設定、お知らせ（メール）を読むことができます。

## 表示設定

**1** 「設定メニュー」ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

**2** 「▼/▲」方向ボタンで表示設定を選び「決定」ボタンを押す

表示設定画面が表示されます。
「▼/▲」方向ボタンで字幕設定または文字スーパー設定を選び「決定」ボタンを押して、各々設定します。

### ■ 字幕設定

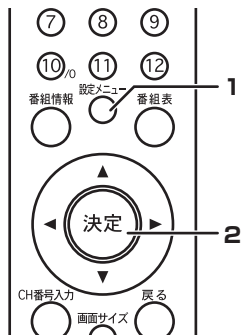
字幕表示の設定を行います。

- 字幕オン
- 字幕オフ

### ■ 文字スーパー設定

文字スーパーの設定を行います。

- 表示する
- 表示しない

# 機器設定

**1** 「設定メニュー」ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

**2** 「▼/▲」方向ボタンで機器設定を選び「決定」ボタンを押す

機器設定画面が表示されます。
「▼/▲」方向ボタンでリストの中から項目をひとつ選び「決定」ボタンを押して、各々設定します。

## ■ アンテナ設定

アンテナに入力される放送電波のレベルが表示されます。

## ■ チャンネル設定(自動)

本製品が自動で受信チャンネルを設定します。
詳細は、「初期設定をする」(⇨19ページ)をご覧ください。

## ■ チャンネル設定(手動)

自動でチャンネル設定を行った際、重複したチャンネルを手動で分けるときなどに行います。詳細は、「チャンネル設定(手動)」(⇨25ページ)をご覧ください。

## ■ D端子出力設定

テレビのD1端子に接続する場合は「480i」、D3端子に接続する場合は「1080i」に設定してください。

- 480i
- 1080i

※ D1端子接続、または映像入力端子付きテレビ接続で「1080i」に設定した場合、映像を見ることができなくなります。
その場合は、リモコンの「CH番号入力」、「11」、「11」、「11」、「戻る」ボタンを連続して押してください。
設定が自動で切り換わります。

## ■ B-CASカードID番号表示

B-CASカードのカード種別、カードID、グループIDを表示します。
確認するだけで、変更できません。

## ■ ソフトウエアのダウンロード

ソフトウエアのダウンロードの設定を行います。

- 自動更新する
- 自動更新しない

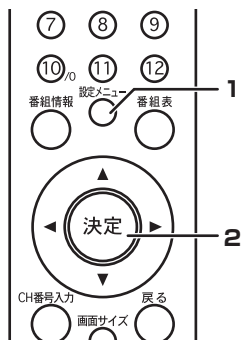
## ■ SWバージョン

SWバージョンを表示します。
確認するだけで、変更できません。

## ■ 設定初期化（工場出荷時設定）

本製品を工場出荷時の設定に戻します。

# お知らせ（メール）

本製品のソフトウエアのアップデートなどに関するメッセージを表示します。

**1** 「設定メニュー」ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

**2** 「▼/▲」方向ボタンでお知らせ（メール）を選び「決定」ボタンを押す

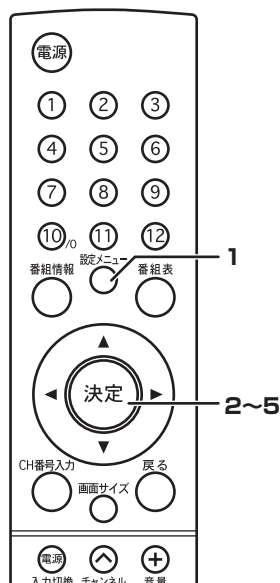
お知らせ（メール）画面が表示されます。
「▼/▲」方向ボタンで放送局からのお知らせまたは本製品に関するお知らせを選び「決定」ボタンを押して、各々確認します。

## ■ 放送局からのお知らせ

放送局からのお知らせが表示されます。

## ■ 本製品に関するお知らせ

本製品に関するお知らせが表示されます。

# チャンネル設定(手動)

**1** 「設定メニュー」ボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

**2** 「▼/▲」方向ボタンで機器設定を選び「決定」ボタンを押す

機器設定画面が表示されます。

**3** 「▼/▲」方向ボタンでチャンネル設定(手動)を選び「決定」ボタンを押す

チャンネル設定(手動)が表示されます。

**4** 「▼/▲」方向ボタンで変更したいリモコンの番号を選び「決定」ボタンを押す

**5** 「◀/▶」方向ボタンで変更したい放送局を選び「決定」ボタンを押す

受信したくない放送局があるときは、チャンネルをスキップできます。
「◀/▶」方向ボタンでスキップ欄へカーソルを移動させ「決定」ボタンを押します。
「◀/▶」方向ボタンでスキップ欄の表示「●」を選び「決定」ボタンを押します。

・「●」表示を選ぶと、チャンネルスキップしてその放送局を受信しません。
・「表示なし」を選ぶと、その放送局を受信します。

# 仕様

入力電圧：DC12V
動作温度：5℃～35℃
外形寸法：126×126×50mm
質　　量：330g

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラストなどは、見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。

# 参考資料

## ● 本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に使用しているライセンスの使用許諾の条件で掲載が義務付けられている記述です。お客様の操作とは直接の関連はありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。
本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。
ホームページアドレス
http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/contact
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。
ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。
本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文**

| 対応ソフトウェアモジュール | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Linux Kernel | Exhibit A | Direct FB | Exhibit B | Yamon | Yamon |

## ● 本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

**Exhibit A**
**GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991**
Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation,Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

**Preamble**

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

**GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.
(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms

and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at al

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

**NO WARRANTY**

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

**END OF TERMS AND CONDITIONS**

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

**Exhibit B**

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999**

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

**Preamble**

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free

software – to make sure the software is free for all its users.
This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.
When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.
For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.
Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.
Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.
When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.
We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.
For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. Toachieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.
In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.
Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely welldefined independent of the application.
Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library,

the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent

infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

**NO WARRANTY**

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

**END OF TERMS AND CONDITIONS**

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990

Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

**YAMON™; SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")**

**IMPORTANT-** This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

**1. DEFINITIONS-The following definitions apply to this Agreement: "Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.**

"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.

"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").

"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.

"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.

"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.

"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.

"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.

"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

**2. MIPS LICENSE GRANTS**

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:

(i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;

(ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).

(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.

(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.

(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.

(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

**3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS**

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

**4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES**

(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.

(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.

(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.

(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.

(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf.

(f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

**5. ASSIGNMENT**

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

**6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS**

This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

**7. TERM AND TERMINATION**

(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.

(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made

by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.

(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

**8. DISCLAIMER OF WARRANTIES**

THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

**9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY**

(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.

(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

**10. WAIVER; MODIFICATION**

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

**11. HAZARDOUS APPLICATIONS**

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

**12. SEVERABILITY**

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

**13. RIGHTS IN DATA**

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

**14. MISCELLANEOUS**

(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).

(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).

(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.

(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.

(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

**15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION**

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

**16. ENTIRE AGREEMENT**

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

• 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。ただし、LGPL が適用されるソフトウェアについては、お客様ご自身の個人的使用のための改変にかかるデバッグのためである場合は、この限りではありません。

# 本製品の保証とアフターサービス

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から 1 年間です。

## 補修用性能部品について

- 当社は、地上デジタルチューナーキットの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 修理を依頼されるときは(持ち込み修理)

ポータブルＤＶＤプレーヤーの取扱説明書「故障かな？…と思ったときは」をご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

# 本製品のお問い合わせに関して

## ご質問、ご相談は

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

**『東芝家電修理ご相談センター』**

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

電話で 24時間 365日 お応えします

携帯電話からのご利用は ナビダイヤル® **0570-06-4114**（通話料：有料）

PHSなどからのご利用は **0173-38-3168**（通話料：有料）

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱方法などのご相談

上記についてのお問い合わせは

**『東芝 DVD インフォメーションセンター』**

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル（通話料無料） **0120-96-3755** （フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-3755** （PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土※ 10:00～20:00 日曜日・祝日※ 10:00～16:00 ※当社指定休業日等を除く

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

**★長年ご使用の地上デジタルチューナーの点検を！**

愛情点検

| このような症状はありませんか | お願い |
| --- | --- |
| ● 電源を入れても音や映像が出ない<br>● 煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>● 水や異物がはいった<br>● 電源プラグが異常に熱くなる<br>● その他の異常や故障がある | 故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。 |

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001 東京都港区芝浦 1-1-1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

# SD-PDT12W　使用上のご注意

本製品は、以下の内容を必ず守ってお使いください。
取扱説明書に記載の「安全上のご注意」も必ずお読みください。

## ⚠ 注意

### ■ 屋外で使用しないこと

本製品は屋内専用ですので、車中などでの使用はしないでください。
製品の劣化や破損の原因となることがあります。

### ■ 電源プラグは、付属のものを使用すること

指定以外の電源プラグを使用すると、火災・故障の原因となります。

### ■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため 電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

### ■ 付属の電源プラグを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

# SD-PDT12W
# 取扱説明書　訂正のお知らせ

説明に使用しているイラスト内で「D映像出力端子」（１０ページ）の表示名称を以下のように訂正させていただきます。

| （訂正前） | | （訂正後） |
| --- | --- | --- |
| 「D1/D2/D3映像出力」 | → | 「D映像出力」 |

# SD-PDT12W
# 取扱説明書　訂正のお知らせ

記載内容の一部を、以下のように訂正させていただきます。

## 13ページ

### 訂正前

| 対応するテレビメーカー | メーカー番号 |
|---|---|
| 東芝 | 00 |
| パナソニック(旧松下)A | 01 |
| パナソニック(旧松下)B | 02 |
| 日立 | 03 |
| 三菱 | 04 |
| シャープA | 05 |
| シャープB | 06 |
| 日本ビクター | 07 |
| 三洋A | 08 |
| 三洋B | 09 |
| ソニーA | 10 |
| ソニーB | 11 |
| NEC | 12 |
| 富士通ゼネラル | 13 |
| パイオニア | 14 |
| エプソン | 15 |
| AIWA | 16 |
| FUNAI | 17 |
| SAMSUNG | 18 |

### 訂正後

| 対応するテレビメーカー | メーカー番号 |
|---|---|
| 東芝 | 00 |
| パナソニック(旧松下)A | 01 |
| パナソニック(旧松下)B | 02 |
| 日立 | 03 |
| 三菱 | 04 |
| シャープA | 05 |
| シャープB | 06 |
| 日本ビクター | 07 |
| 三洋A | 08 |
| 三洋B | 09 |
| ソニーA | 10 |
| ソニーB | 11 |
| NEC | 12 |
| 富士通ゼネラル | 13 |
| パイオニア | 14 |
| エプソン | 15 |